

教科書の特徴

教科書名：BIG DIPPER English Communication III（104 数研 CIII714）

I 内容

学習者が日常的・社会的な話題を通じて人間性や社会性を育むことができ、かつ英語コミュニケーションⅡで培った英語の運用能力をさらに伸ばし、英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばせる内容・構成となっている。

1. 題材は学習者に親しみやすく、かつ、多面的・多角的な考察ができる内容豊かなものを選んだ。
2. 言語材料に関しては、英語コミュニケーションⅡとのスムーズな連携を考慮し、また、確かな定着を目的として反復活動を重視した。
3. 題材を学習するにあたっては、聞く・読む・話す[やり取り／発表]・書く の 5 つの領域の統合的な言語活動を設けた。
4. 言語活動においては、読んだり聞いたりした内容について、学習者の意見を引き出したり、クラスメートの意見を聞いたりする活動を設けて、学習者が積極的に授業に参加できるように配慮した。

II 全体の構成

1. 前見返し

- ・ Lesson 9 で扱うアイスランドの巨大な温泉施設“The Blue Lagoon”の写真を掲載している。

2. Introduction to Reading 1～3

- ・ 効率的な reading を行うためのスキルを学ぶコラムが 3 つ配置されている。
- ・ 音の強弱やリズムなど音読のコツを学ぶコラムも含まれている。

3. 本課

- ・ 明確なねらいをもつ 3 つの SECTION で構成され、運用計画が立てやすいように配慮されている。

SECTION I：つなぎ語を意識して短い英文を読み、意見を伝え合う

SECTION II：文章全体の構成を意識してやや長めの英文を読み、さまざまな発信活動を行う

SECTION III：長めの英文を読み、さらにさまざまな形式の関連情報を得て考えを深め、より高度な発信活動を行う

A. 本文・課末ページ

- ・ 本文：写真・イラスト・図表などで、適宜、本文内容を補足するよう工夫されている。
- ・ 二次元コード：本文・新出語・本文に関するリスニング問題の聞き取り、音読・発音練習や本文読解速度の確認ができる。
- ・ 脚注：本文理解の助けになる、代名詞や言い換えについて確認できる。また、固有名詞の読み方な

どが示されている。

- ・ **Tips for Reading [SECTION I]** : 英語のつなぎ表現など英文の論理的なつながりを理解しやすくなるように配慮されている。
- ・ **Comprehension** : 本文理解を確実にするための内容把握問題。本文内容・形式に合った多様な形式で理解確認ができる。
- ・ **Give Your Opinion [SECTION I]** : 本文内容に関連した話題で自己表現ができる活動。活動の負担に配慮し、適宜、ヒントが提示されている。
- ・ **Structure of the Text [SECTION II]** : 本文のパラグラフ構成が確認できるコーナー。英文全体の構成を意識させるよう配慮されている。
- ・ **SECTION III** の各本文後には「画像と文章を一致させて **summary** を作る(L21)」「本文内容をまとめた簡単なポスターを作る(L22)」「画像とヒントとなるフレーズを用いた **retelling**(L24)」などを配置し、本文を活用した多様な活動に取り組めるよう配慮している。

B. Try It Out [SECTION II, III]

- ・ 聞き取った内容を元にペアワークを行い、意見をまとめて発表する活動。段階を追って無理なく学習できるように工夫されている。

4. Vocabulary for Activities 1～6 [SECTION II]

- ・ **SECTION II** 各レッスン末に配置された、本課トピック関連の頻出語彙・表現をまとめたコラム：似た意味の語の使い分けを多く紹介しており、**Try It Out** などの発信活動で活用しやすいよう工夫されている。

5. SECTION III 課末コラム [SECTION III]

- ・ **SECTION III** 各レッスン末に配置されたさまざまな活動の指針となるコラム：「ディスカッションの注意点」「要約文の作成」「質疑応答のやり方」など。

6. 巻末

- ・ **Useful Idioms** : 本課脚注で扱った成句のまとめ。例文とともに示され、成句が定着しやすいよう工夫されている。
- ・ **Word List** : List 1 では新出語を、List 2 では人名・国名・作品名等をリストアップしてある。

7. 後ろ見返し

- ・ 句読法：英語を正確に読んだり書いたりするために、コロン、ダッシュ等が説明されている。

Ⅲ 表記・表現及び使用上の便宜

- ・ 4 技能 5 領域の活動には、それぞれの活動を示すアイコンが添えられており、内容がわかりやすい。
- ・ 新出語は脚注でなく傍注に示してあるため、本文を追う目の動きに沿って確認することができる。
- ・ 脚注は指示語の確認(1 段目)、イディオム(2 段目)、固有名詞等の語句注(3 段目)に分かれている。
イディオムには辞書で引くべき見出し語に*印が付いており、学習しやすい。